



幕別札幌FC 指導方針



選手の将来のために

☆ 勝つこと・育てることのバランスを考えながら

- ・ 競技である以上、いかなる試合でも常に勝利を目指す、クラブ活動の「目的」ではない。
- ・ 目先の勝利を得るために、将来の大きな成長を阻害しない。例えば、けがや痛みのある選手を無理に出場させる、その時点での能力や体格に勝る選手に偏るといった選手起用をしない。
- ・ 次のステップアップに向けて、選手一人ひとりがそれぞれ夢と希望を持てるようにすること。
- ・ 選手の成長（発育や発達含む）を見極めながら、各年代で身に付けるべきことを優先。
- ・ Players First（プレイヤーズファースト）：何事も、選手たちにとって何が一番良いのかというという基準で考える。⇒ 選手を甘やかす、自分勝手を許すということではない。
- ・ 現時点での能力だけを観るのではなく、将来新たな能力を身に付けた時の姿を思い描きながら一人ひとりの選手に関わる。

コーチングの目的

☆ サッカーの「楽しさ」を伝え、クリエイティブでたくましく、豊かな人間性を育む。

楽しさ	① 動く楽しさ	（活動欲求が満足できる）
	② かかわる楽しさ	（仲間との支え合い高め合い、コミュニケーション能力の向上）
	③ できる楽しさ	（できないことができるようになる・・・技術の習得）
	④ 知る楽しさ	（知らなかったことを新たに知る・・・知識の習得）
	⑤ わかる楽しさ	（動き方がわかる・・・戦術理解）



【解決法を「与える」のではなく、自ら「見出す」能力を育てる】

- ・ コーチからの発問に対し…選手が自分で考え…解決策を見出す。
（選手自身が判断する能力を磨く）
- ・ 「知識」を獲得するだけでなく、獲得した「知識」を活用・応用し、物事に対して、いつ、どんなときでも的確に対応できる「知恵」を身に付けられるよう促していく。

「観て、自分で判断してプレーする楽しさ」を得る



良い習慣の追求

☆ チームや仲間、支えてくれる方に貢献しようとする「努力・心構え・やる気」の育成

- ・ 『ON THE PITCH』（オン・ザ・ピッチ 試合・練習など）
⇒ クリエイティブでたくましいプレー、選手同士の話し合いによる課題解決
- ・ 『OFF THE PITCH』（オフ・ザ・ピッチ 試合・練習以外など）
⇒ 生活習慣をより良く
 - 「学業」との両立
 - バランスの良い「食事」
 - その場に適した「挨拶」
 - 適切な「休息」

様々な「体験」の蓄積

☆ 子どもの頃の様々なスポーツ体験、生活体験の重要性が叫ばれています。

☆ 「知・徳・体」ではなく、「体・徳・知」を。

☆ 「成功体験」と「失敗体験」のバランス

☆ 大人が見守り、寄り添い続ける。

総合型クラブとしての一貫指導

☆ 考え方・コンセプトを全スタッフが共通理解のもと幼児から中学生まで指導にあたる
他分野からの視点で選手の多様性を見出す

- ① 長期目標・短期目標
- ② 年間、月間、週間のトレーニングの目的と内容
- ③ 選手一人ひとりの能力と、チームの評価
- ④ 総合型クラブとしてのやくそくごと
- ⑤ 総合型クラブとしての理念追求